



六月(小) 水無月 角宿

六月六日芒種の節より
月命庚午四緑木星の月
暗剣殺東南方

旧五月小
六月大

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	目出入	月出入	満潮	干潮
1日	日	みづのとう	七赤	電波の日、写真の日、氣象記念日、万国郵便連合加盟記念日、相模川他船解禁、一粒万倍日、旧五月小	四	友引	ひらく	昴	母倉	4.27	7.22	6.31	0.40
2日	月	きのえ	たつ	横浜開港記念日、旧端午、一粒万倍日、不成就日	五	先負	とづ	畢	大みやう	4.26	8.15	22.04	19.37
3日	火	きのと	み		六	佛滅	たつ	觜	●	4.26	18.52	22.38	14.09
4日	水	ひのえ	う	幽の衛生週間、伝教大師忌	七	大安	のぞく	参	大みやう	4.26	18.53	21.32	1.49
5日	木	ひのと	ひ	世界環境デー、熱田神宮祭、宇治県神社祭、鶴岡大山大祭	八	赤口	みつ	井	くまひ	4.26	10.03	7.54	2.31
6日	金	つちのえ	さ	芒種三時〇三分、上弦五時三九分、広島とつかさん大祭(8日迄)、金沢加賀百万石まつり(8日迄)	九	先勝	みつ	鬼	神よし	4.26	10.57	22.18	4.50
7日	土	つちのとり	四	東京鳥越神社例大祭(8日迄)	十	友引	たい	柳	神よし	4.25	11.52	23.11	3.26
8日	日	か	い	危険物安全週間(14日迄)	十一	先負	さ	星	大みやう	4.25	13.45	13.40	6.24
9日	月	か	の	東京日枝神社山王祭(7日、17日)	十二	佛滅	と	張	百事よし	4.25	18.55	12.00	17.59
10日	火	つちのえ	ね	時の記念日、八せん始め、不成就日	十三	大安	やぶ	翼	●	4.25	18.56	1.02	8.14
11日	水	みづのとう	し	入梅八時三十分	十四	赤口	あ	軫	天おん	4.25	15.47	1.54	7.27
12日	木	きのえ	と	三隣亡	十五	先勝	なる	角	母倉	4.25	13.45	0.46	19.12
13日	金	きのと	う	望一三時一分	十六	友引	お	亢	母倉	4.25	17.54	17.11	11.01
14日	土	ひのえ	た	大阪住吉大社御田植神事、チャグチャグ馬コ	十七	先負	ひ	氐	大みやう	4.25	18.58	18.57	23.26

春から夏への季節の変わり目がこの月で、太平洋側の高気圧が次第に発達し、日本列島に沿う気圧の谷が通ったり、その谷間に低気圧がたたり、不連続線が生じたりして雨が降り続くのである。十日前後には「入梅」がある。これは太陽が黄経八十度に入梅とか梅雨のちなみに入梅とか梅雨の「梅」は、ちようどのころ梅の実が熟することから出てくる。

高温多湿であるが、気圧の谷に入ったとき、妙に底冷えのすることがある。食中毒が多発するのもこの月である。細菌の繁殖に最適の気候であり、寒暖に差がある季節だからということがいえる。たまの晴れ間を十分活用し、風通し、家具、食器類などの手入れをし、とかく不衛生になりがちな梅雨どきを無事に過ごすよう心掛けよう。

【冠】この月に限ってと言う行事は別にないで、出

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	目出入	月出入	満潮	干潮
15日	日	ひのと	み	父の日、北海道神宮祭、弘法大師誕生会、一粒万倍日	十八	佛滅	と	房	十し	4.25	20.45	6.28	12.28
16日	月	つちのえ	ま	柏崎えんま市、一粒万倍日	十九	大安	た	心	くまひ	4.25	21.33	6.12	0.53
17日	火	つちのえ	び	伊勢神宮月次祭、奈良率川百合祭、興教大師誕生会	廿	赤口	のぞく	尾	神よし	4.25	22.15	7.45	13.54
18日	水	か	の	海外移住の日、庚申、不成就日	廿一	先勝	みつ	箕	大みやう	4.25	8.00	20.46	14.39
19日	木	か	の	櫻桃忌	廿二	友引	たい	斗	神よし	4.25	10.59	21.29	15.27
20日	金	みづのえ	ぬ	下弦三時三九分、京都鞍馬寺竹伐り会式	廿三	先負	さ	牛	ちう日	4.25	22.54	22.12	16.24
21日	土	みづのえ	と	夏至一九時五十分、八せん終り	廿四	佛滅	と	女	●	4.25	10.16	23.53	17.37
22日	日	きのえ	ね	九星陰遁始め、甲子	廿五	大安	やぶ	虚	●	4.26	11.54	13.47	18.57
23日	月	きのと	う	沖縄慰霊の日、オリンピックデー	廿六	赤口	あ	危	神よし	4.26	13.07	23.03	20.07
24日	火	ひのえ	と	東京芝愛宕千日詣り、清正公忌、三隣亡	廿七	先勝	なる	室	百事よし	4.26	15.08	15.59	21.05
25日	水	ひのと	う		廿八	友引	お	壁	天おん	4.26	2.47	16.39	21.55
26日	木	つちのえ	た	国連憲章調印記念日、不成就日	廿九	先負	ひ	奎	天おん	4.27	17.53	17.01	22.38
27日	金	つちのえ	と	朔一七時〇八分、己巳、一粒万倍日、旧六月大	朔	赤口	と	婁	十し	4.27	4.23	17.44	23.16
28日	土	か	の	貿易記念日、大つち、一粒万倍日	二	先勝	た	胃		4.27	5.14	18.44	23.51
29日	日	か	の		三	友引	の	昴	大みやう	4.28	6.07	19.24	12.06
30日	月	みづのえ	る	大はらい、夏越祭	四	先負	みつ	畢	神よし	4.28	7.01	20.39	12.41

産より初誕生日までの行事を整理してみよう。

この世に生を受けた新生児は、産声(うぶごえ)をあげ、産湯につかり、産衣(うぶぎ)につつまれる。親戚縁者に無事出産を通知したり、お祝いに餅をついたりする。

生まれて三日目は「三つ目祝い」、五日目を「五夜目」といって祝宴を張るところがある。七日目は「お七夜」といって新生児の名前を披露する儀式がある。出生届けは、生まれた日から十四日以内に市区町村の役所に提出する。

生後三十日前後(土地により多少違)には「お宮詣」といって氏神様の所に行って「お祓(はらい)」をしてもらう。百二十日前後の「お食初め」を終えて、一年目の誕生祝いになるのである。

【祭】第三日曜日は「父の日」、五月の母の日と同様、父の働きあつての自分と思えば、父へも感謝をささげるべきであらう。

二十一日前後は「夏至」。文字からいえば夏の真つ盛り、北半球では昼間が最も長く、夜が短い日である。